

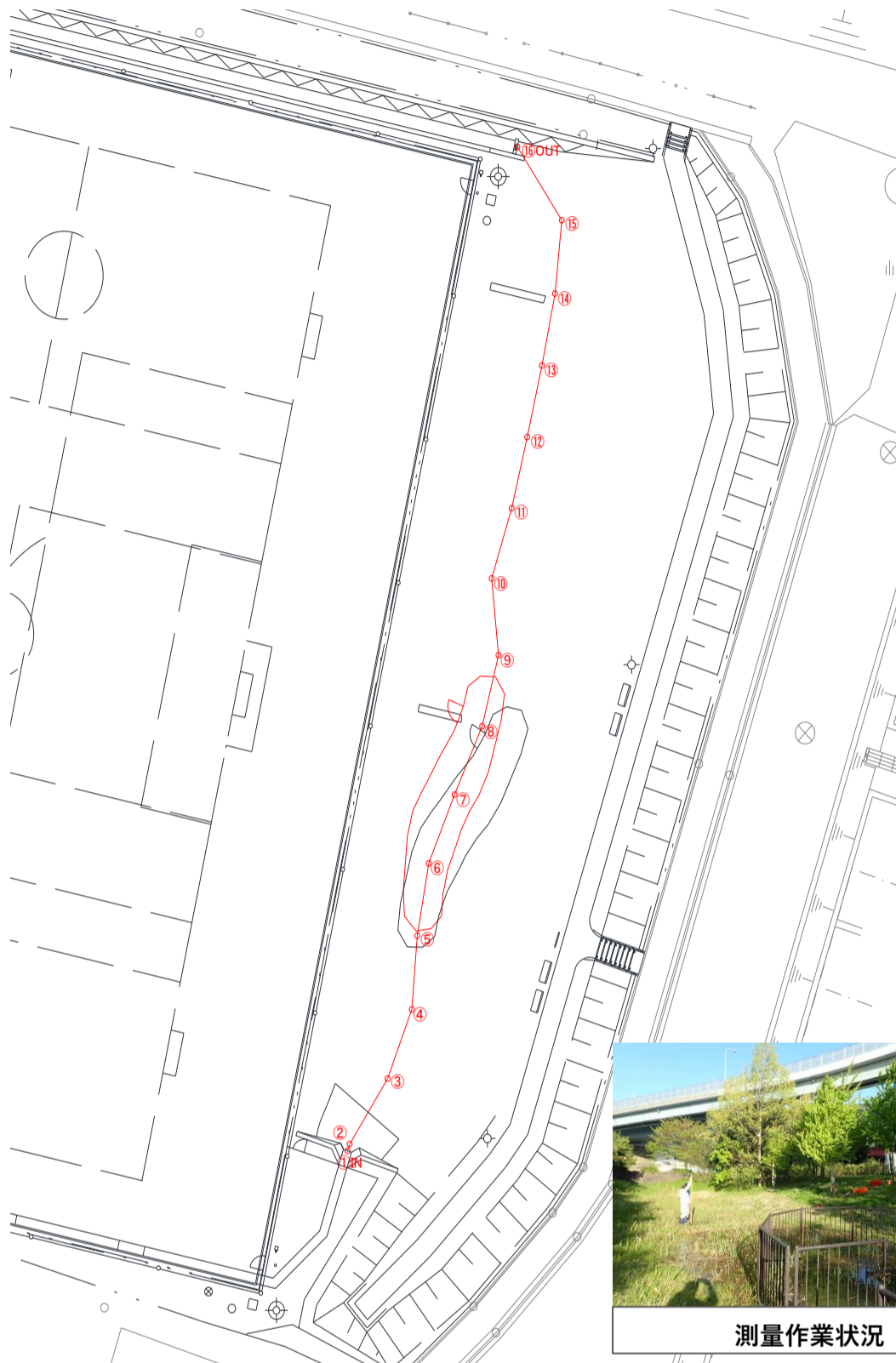


こんにちは、谷本公園の指定管理者「緑とコミュニティーグループ」です。

令和2年4月14日に**現地の測量「モニタリング」**を行いましたので、**結果について報告いたします。**

一覧表の表記は以下の条件で表示しています。

- ◎ 図中にあるNo.①IN~No.⑯OUTまでの地盤の高さをNo.①INの高さを0として表示しています。
- ◎ 測定位置は現状の湿地のセンターとおぼしき箇所を任意で選んでいます。縁石からの離れとは、球技場の縁石からの鉛直距離を表しています。
- ◎ 単距離及び累積距離は、測点同士の距離及び総延長です。



測点No.	地盤の高さ	縁石からの距離	単距離	累積距離
①IN	0	-	0	0
②	- 0.003	4.95	0.47	0.47
③	- 0.003	6.82	5.35	5.82
④	- 0.009	7.66	5.07	10.89
⑤	+ 0.011	7	5.04	15.93
⑥	- 0.114	6.81	5.00	20.93
⑦	- 0.184	7.75	5.09	26.02
⑧	- 0.185	8.83	5.12	31.14
⑨	- 0.044	9.02	5.00	36.14
⑩	- 0.038	7.39	5.26	41.40
⑪	- 0.009	7.87	5.02	46.42
⑫	±0	8.01	5.00	51.42
⑬	+ 0.001	8.07	5.00	56.42
⑭	+ 0.019	8.01	5.00	61.42
⑮	+ 0.026	7.45	5.03	66.45
⑯OUT	- 0.069	-	6.05	72.50

測量結果は上記の通りです。調査の結果、図中にあるビオトープ池と侵入防止柵の位置が、図面と現地に差異があることがわかりました。また、下の図はポイントの縦断図（延長のスケールを1/10、深さ高さのスケールを10倍にして見やすく作図しています）です。現状は、陸地化が進行して⑤付近と⑫~⑮の付近では、水が堰き止められていることがわかります。その堰き止められた水がオーバーフローして下流域に行くため、ビオトープエリアの最大水位は⑮のIN+26mmになっていることが予想されます。このビオトープエリアの水場を湿地と考えるのか、流れと考えるのかで作業方針は変わってきますが、この結果をもとにどういった改良が良いかの検討をしていきたいと思ひます。

